NTT DATA
Global IT Innovator

参考資料

第5回AIワーキンググループ
第4回WG議事概要

2020年6月15日
NTTデータ経営研究所

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

第4回AIワーキンググループの振り返り

カテゴリー		ご意見の概要
消費者が抑えておくべきポイント		● 消費者があらゆる事項を自分でチェックすることは困難である。消費者が抑えるべき事項として、①何ができて何ができないかを把握する、②信じて大丈夫そうか、もしものときにどう責任をとってくれそうか確認する、③たまに見直し相談すること、が挙げられる。 ● 信用・信頼を置ける第三者を活用することは、複雑性の縮減という面でメリットがある。 ● 「信頼できる事業者」を消費者が判断する際のメルクマールとして、以下のようなものが挙げられる ➢ 事業者による指針 ➢ リスクが発生した場合の対応（補償、保険等）と、サービスによる便益
ハンドブックの量・構成		● ハンドブックは、現行案では量が多い。しかし、必要な情報でもある。 ● 親会の方針とも整合させ、リーフレットとハンドブック（リーフレット＋ユースケース）としてはどうか。 ● ハンドブックには、現状の総論部分と、分野別注意事項を掲載することではどうか。 ● リーフレットを見て、より詳細を知りたい人は、リーフレットに掲載したQRコードから、ユースケースを閲覧できる形にしてはどうか。
ハンドブック	読みやすさの工夫	● 長い文章を箇条書きにするなどにする ● ガイドブック内で使用する用語の記述を統一する等 ● 複数個所で繰り返されている記載内容を、一か所にまとめる ● チェックリストなどを設けるのも、記載内容のポイントを示す観点から有効ではないか
	リーフレットとユースケースの読者	● 対象は、リーフレットとユースケースを記載したハンドブックと同じである。 ➢ 討議の経過においてはリーフレットは消費者、ユースケース部分は相談員・教員等、複数の考え方が挙げられた。 ● リーフレットを見て、自分で全て確認することが難しい（誰か信頼できる人に任せたいと思う）人は、リーフレットを見るにとどまるかもしれないが、自分で確認したい人はハンドブックを見るだろう。

Copyright© 2020 NTT DATA Corporation

NTT DATA